

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2020年12月度 番組審議会概要

2020年12月10日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 飯野 勝己 東松 充憲(欠席) 飯塚 潤

— 議 題 —

番組名 「くさデカ」

放送日時 2020年12月5日（土） 18時30分～19時00分

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

「くさデカ」は県内の様々な店をタレントが訪れ、その店の工夫やこだわりが詰まった「自慢のアレ」を紹介するグルメ情報番組。この回は「ギャル曾根爆食！デパ地下&駅ナカ最旬グルメ24連発」と題し、ギャル曾根さんが静岡市内のデパートやJR静岡駅にある店から選りすぐりの逸品を紹介した。

また新型コロナウイルス感染防止対策として、店とテレビ静岡をリモートで結び、商品の説明は店で、試食は会議室で行うなど、演出も工夫された。

— 審議概要 —

- ◎通常なら店に行って食べる番組スタイルを、逆転の発想で弁当や惣菜などテイクアウトにスポットを当てたのはコロナ禍ならではの、タイムリーなアイデアで興味深かった。
- ◎リモートでの商品の受け渡しシーンなど映像に工夫が感じられた。

- ◎おいしいものをおいしそうに撮影する技術は、今回もさすがと感じた。
- ◎リモートでありながら店の人との会話もあり、ギャル曽根さんのきれいに、おいしそうに食べる所作や、感想や質問の的確さなど、食に対する姿勢はさすがと感じた。
- ◎数多く紹介したい意図はわかるが、多いほど一品の情報が薄くなってしまっているのが残念だった。また、品数を多くするとどうしてもめりはりに欠け、試食が2品×4店という構成は後半は単調に感じた。
- ◎店に行って、店主と話し、色々なこだわりや魅力をトークで引き出すのが番組の本来の持ち味だと思う。この状況では仕方ないとわかっているけど、そこがないと物足りなさを感じた。
- ◎ギャル曽根さんならではの“大食い感”をもっと出しても良かった。大盛りや同じものを大量に食べるわけではないので、収録時間を示し、「〇時間でこれだけ完食」など説明に工夫があっても良かったのでは？
- ◎「24連発」というタイトルで実食は8食だった。冷静に考えれば30分番組で24食は無理だとわかるが、拍子抜けな感じがした。
- ◎「重大発表」と予告しておきながら番組の最後にヒントだけ示し、次週に持ち越すという手法は、テレビ番組ではよくあることだが、肩透かしを食った感じだった。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2021年1月22日（金）の予定です。